第10号
2014 VOL.10
隔月誌
平成26年11月発行

かなえるレター

かなえるリハビリ訪問看護ステーション



ご利用者コメント

肩や頸の痛みも和らいで、私の希望であった俳画教室や手芸にも行けるようになり、かなえるさんには、心より感謝しております。毎日欠かさず、教わったリハビリを行っています。

今月の表紙
作品　干支
守口市　井内　みきゑさま

かなえるレターからのお知らせ

ご利用者数　H26/10/20時点
介護保険 515名　その他 6名
医療保険 222名　計 737名　社員数80名

ご利用者からの投稿募集



かなえるレターではご利用者の投稿を募集しています。
俳句、川柳、随筆、絵手紙など作品の種類は問いません。
あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか？
詳細は郵送、FAX、メール、または、訪問スタッフまで
お問い合わせ下さい。あなたの投稿をお待ちしております。

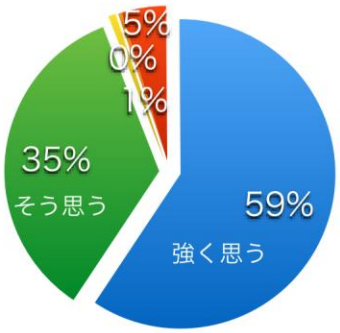
かなえるリハビリ
訪問看護ステーション
〒550-0015
大阪市西区南堀江1-16-15
名城ビル4階D号室
tel 06-6531-3500
fax 06-6531-3510
e-mail：info@kanaerulink.co.jp

ご利用者アンケートについて

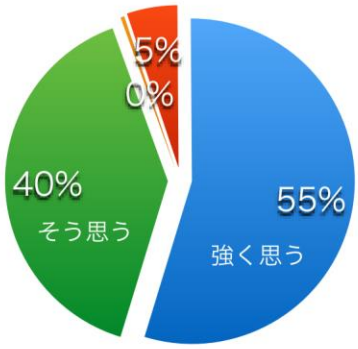
この度は、ご利用者アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。今回の取り組みは、当社として初めての試みでありましたが、お陰様で多くのご意見を頂戴することができました。アンケート結果につきましては、今後のサービスの質の向上と課題の解決に向けて参考にさせていただきたいと考えております。以下にアンケート結果を掲載させていただきます。

● 強く思う ● そう思う ● 思わない ● 全く思わない ● 無回答

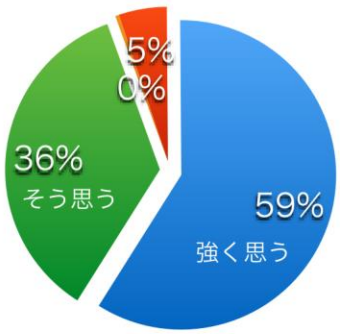
1.約束の時間を守れていますか？



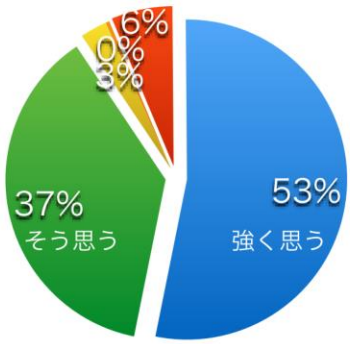
2.服装や身だしなみは適切ですか？



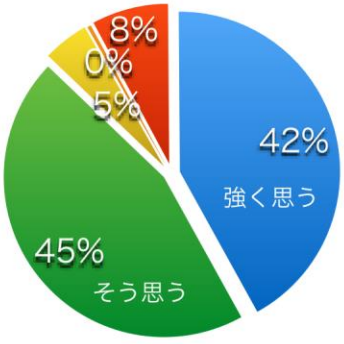
3.挨拶・言葉遣いは丁寧ですか？



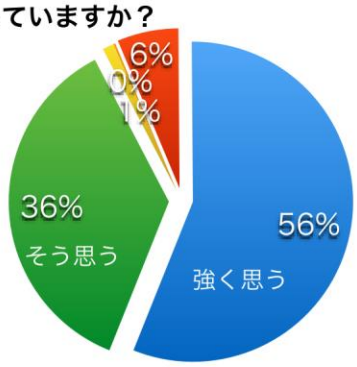
4.看護・リハビリ内容の説明は分かりやすいですか？



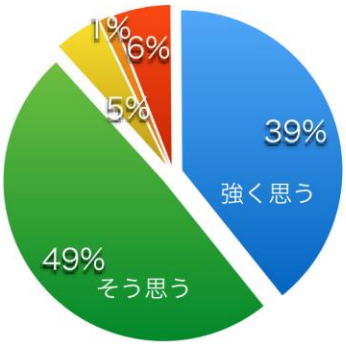
5.サービス提供時間の長さはちょうどよいですか？



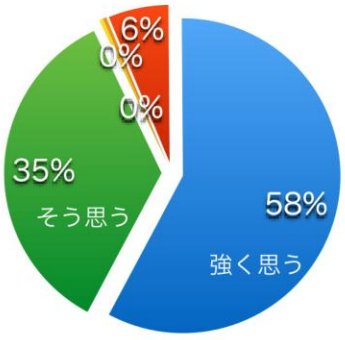
6.担当者に相談出来る雰囲気がありますか？また、適切に対応していますか？



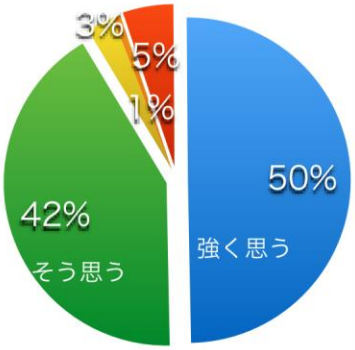
7.訪問看護・リハビリを受けて効果はありましたか？



8.訪問看護・リハビリは今後も必要だと思いますか？



9.サービスに満足しておられますか？



事業所より

かなえるリハビリ訪問看護ステーションでは、今回掲載させていただきましたアンケートのご意見・ご要望を、業務改善に活かして参ります。アンケートの作成にあたり、内容や文言等が分かりにくいとのご意見もありましたので、今後の作成にあたっては改善を検討しております。特に多くいただいたご意見の中で、サービス内容の改善に対するご要望に対しては、社内の教育研修体制を強化する取り組みを開始しております。また、サービス担当者が休みの際の対応については、ご利用者のスケジュールに合わせた対応を可能な限り実施できるように調整して参ります。その他、当社のサービスに対するうれしいお声も沢山いただいており、社員一同感謝の気持ちでいっぱいです。今後もアンケートに限らずご意見、ご要望がございましたら事業所までご連絡ください。皆様のご希望に応えられるように精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

かなえるリハビリ訪問看護ステーション
所長　関本　充史

ご利用者からのご意見・ご要望

◎母の発熱に気づいて、電話で連絡してくださり…本当にお世話になりました。前任の先生がバトンタッチしてくださった今の先生には…母の栄養のこと室温のこと、気の持ち方のこと何から何まで相談させていただき、とても的確なアドバイスをちょうだいしています。

◎親身で献身的リハビリに毎日感謝しております。福祉用具の手配や、訪問入浴との時間配分までご配慮いただきお礼の言葉もありません。

◎ソファーがやわらかいので、雑誌を２冊づつ４ヶ作ってくださり、マットの下に敷く事で立ち上がりが楽になりました。

◎いつも笑顔で優しく話しかけてくださって感謝しています。時間に追われて大変でしょうが、「かなえる色」を出してくださっても良いのになと感じています。

◎入院中は、リハビリは「したくない」と言っていたが、家に帰ってからは、自分からいろいろと考え足を動かしてほしいと言うようになりました。訪問リハビリが始まってから変わったと思いました。

◎担当者が休みのときかわりの担当者にきてもらえるようにしてほしい。

➡人員不足により対応困難となっており、ご不便かけて申し訳ございません。ご希望に添えない事もございますが、可能な限り対応出来るよう検討して参ります。

◎負担金又はそんな説明等聞きたいです。子供に記入、押印のみで帰られては何も判りません。

➡ご説明不足で申し訳ありません。ご家族様へご説明させて頂いており、担当者は、ご本人への説明が不足していたと想定されます。担当者に申し付け頂ければ、改めて説明させて頂きます。

◎言語訓練のリハビリを指導してもらっていますがあまり効果が上がっているようには思わず、もう少し楽しく変化をつけて意欲が出るような方法でして頂ければと思います。

➡ご本人の状態に合わせてリハビリ内容を提供させて頂いていると思いますが、配慮が足らず申し訳ありません。担当者に申し付け頂ければ再度プログラムを検討させて頂きます。

◎最初の内は時間きっちり守っていたが、時々遅れたりリハビリも真剣さに欠けるように思う。

➡大変申し訳ありません。時間を守ることは社会人として当たり前のことで研修項目にも入れていますが、実行出来ておらずご迷惑おかけしております。再度指導して参りますので、担当者、または事業所までご一報いただければと思います。

◎ 指導を希望してますが、時間に制限があるのでなかなか思うような指導してもらえません。

➡ご家族様へのご指導でしょうか。担当者にご相談いただければ、改めて時間調整させて頂きます。

◎リハビリの時間がもう少し長ければいいなと思います。

➡リハビリ時間に関しては、担当者、ケアマネジャー様とご相談いただき、再度調整させて頂きたいと思います。

◎リハビリの時、家族が立ち会えないので、注意書きや気をつけること等の簡単なメモがあると助かります。

➡ご利用者に合わせて、ノート等を置かせて頂き、ご家族や他職種の方と連絡をとらせて頂く場合があります。担当者にご希望お伝え頂ければ、対応させて頂きます。

かなえる TOPIC

勉強会開催！「認知症　～住み慣れた環境で生活を続けるために～」

9月17日（水）泉佐野市立文化会館にて、泉佐野市の福祉用具事業者、かじせケアサポートさまと共催で地域の介護支援専門員の方対象の勉強会
「認知症　～住み慣れた環境で生活を続けるために～」を開催しました。



はじめに、当社の平野真司OTから、
「認知症　本人と家族のための訪問リハビリ」というテーマで講義しました。
訪問リハビリにおける認知症の方への関わりとして、
①機能低下による生活障害に対するアプローチ
②行動・心理症状に対するアプローチ
③家族の介護負担に対するサポート
という点を中心に、また周辺症状が発生するメカニズムについてもお話ししました。
また基盤となる中核症状と、それを起因とする他者や環境との不調和について考え、どういう問題から周辺症状が発生するのか、その原因を考えることで、不安や混乱を取り除き、関わり方や環境を整えることで症状を緩和できるという内容を説明させていただきました。



次に、かじせケアサポートの福祉用具専門相談員、中尾佳洋さまからお話し頂きました。
中尾さまからは認知症の方が在宅生活を送るうえで有用なベッド周辺の福祉用具や車いす・歩行器などを紹介して頂きました。
また、中尾さまからは、ご経験をもとに、認知症の方の問題や心境の変化などお話下さいました。
中尾さまのお話を通じて、認知症の方が、在宅環境の側面からも色々な問題に直面する様子を理解することができました。
講義の中には豆知識の紹介などもあり、楽しく聴講させて頂きました。
今回は、２０名を超える介護支援専門員の方に参加していただきました。認知症のご利用者と関わる介護支援員の方々にも、専門職の関わり方やアプローチについて、知っていただける機会になったのではと思います。
ご参加いただいた介護支援専門員の方々、ご協力いただいたかじせケアサポートの皆様、ありがとうございました。

ご利用者投稿のコーナー



干支　午



稲穂



野葡萄

担当スタッフより

毎年、干支の作品を作って親しい方々に差し上げておられました。今年は作品を作ることは無理だろうと諦めておられましたが、リハビリ、自主トレに熱心に取り組まれた結果、今年も作品を作れそうと喜んでおられます。



台風も過ぎ去り、朝晩は一段と肌寒くなってきましたが皆様いかがお過ごしでしょうか？
季節の変わり目でもあり、体調には気を付けたいものですね。今号のかなえるレターでは、利用者アンケートの内容を主に掲載しました。皆様、ご回答ありがとうございました。皆様のご意見を受け止め、社員一同これからもより良いサービスを提供していけるように日々邁進していきたいと考えております。

編集者　井戸　孝則